

【ボランティアについて】

同じ行動でも、心の持ち方次第ではカルマの付け替えが起こります。

5 例) 有志を募った清掃活動など

正しい心の持ち方 : ゴミを散らかす人々を、母親の^{できあい}溺愛で虐待された“可哀想な人”と
思いながら行いましょう。

10 間違った心の持ち方 : “仕方がないから”と嫌々で行ったり“綺麗^{きれい}にしてやった”と驕り高^{おご}たか
ぶった気持ちで行ったりすると、悪いカルマを付け替えられます。

正義感による援助活動などは、結果的に支援される方々を苦しめてしまう場合があります。

15 例) アフリカや東南アジアの貧しい村に、井戸を掘り、高額なエンジン式のポンプを支援
をした場合などは、本当の支援にはなりません。

ポンプが壊れた時に自分達で直せなければ、元の状態に戻ってしまいますから、ただ水が
出るようにするだけでは、貧しい地域の本当の支援にならないのです。

20 *1
高額なエンジン式のポンプを支援するのではなく、^か上総掘り^{ずさぼ}のような簡単な道具だけで誰
でも井戸を掘れる技術支援をして自立出来るよう導いて、初めて救済した事になるのです。

*1 ^か上総掘り^{ずさぼ}とは、やぐらを組む竹と、^て鉄管^{つかん}を利用した井戸掘りの方式で、地面に掘った
25 穴に土を軟らかくするための水を入れ、その穴の底に^て鉄管^{つかん}を突き当てて掘り進む、掘り
抜き井戸の工法の一つです。(詳しく知りたい方は、Netで調べて下さい。)

教育支援について

30 貧しい国の辺境の村に学校を建てて教育支援をすることは、結果的に自立を促すことにな
るので、『神』から見て喜ばれる支援です。

孤児院について

35 子供が育つためには、愛情が必要です。そのため、孤児達を愛情一杯に育て、自立できる
ように導くことは、『神』にお喜び^{いただ}戴けます。

40 弱い立場の人や、貧しい国で苦勞している方々というのは、そういう状況になるカルマ
を持っているのです。

そういう方々を本当の意味で助けるには、『神』の御心^{みこころ}に^{かな}適った行動でなければ救えま
せん。